

ミスミグループ本社 2020年3月期 第1四半期 連結業績

～製造業の設備投資需要低迷などの影響を受け減収減益、
収益管理を行いつつ持続成長に向けた先行投資は実行～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2020年3月期 第1四半期（2019年4月1日～2019年6月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減率
売上高	85,428	79,042	-7.5%
のれん等償却前 営業利益 ※	9,183	5,998	-34.7%
営業利益	9,032	5,845	-35.3%
純利益	6,517	4,311	-33.9%
1株当たり純利益	23.00円	15.20円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

<2020年3月期第1四半期の連結業績ハイライト>

1. 連結売上高は対前年同期比 7.5%減収、足元の需要動向を踏まえ収益管理を徹底しつつ持続成長に向けた投資は実行

- 当第1四半期における世界経済は、昨年度から継続するスマートフォンや自動車の販売不振に加えて、米中貿易摩擦拡大の懸念などにより、東南アジアを除く各地で製造業の設備投資意欲がさらに減退しました。また、日本においても海外需要や設備投資の鈍化を受けて景況は一層減速し、生産用機械、自動車関連分野に影響が見られました。
- こうした環境においても当社グループの戦略は変わることなく、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献しています。当第1四半期においても、世界で進化する「デジタルものづくり」に向けた事業モデルの革新に取り組み、基幹システムのクラウド化などIT基盤の強化を図るとともに、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、国内外で物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めましたが、製造業の設備投資需要低迷の影響を受け、売上高は前年比減少となりました。
- この結果、連結売上高は790億円、前年同期比で7.5%（現地通貨ベース-6.2%）の減収となりました。利益面につきましては、売上数量減による収益の減少、および足元の需要減速を見越して収益管理を徹底しつつも持続成長に向けた投資を継続したことなどにより、営業利益は58億円（前年同期比-35.3%）、経常利益は57億円（前年同期比-36.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億円（前年同期比-33.9%）となりました。

2. 製造業の設備投資需要低迷により各セグメントで減収

- 2020年3月期第1四半期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	29,776	25,189	-15.4%	-14.1%
金型部品事業	19,474	18,779	-3.6%	-2.1%
VONA事業	36,177	35,072	-3.1%	-1.9%
合計	85,428	79,042	-7.5%	-6.2%

- FA事業では、前年同期の大口受注による反動に加え、日本や中国、韓国における設備投資需要の低迷が続いたこと、さらに、欧州では自動化需要が減速したことにより、前年同期比15.4%の減収となりました。
- 金型部品事業は、東南アジアにおける販売活動が堅調だったものの、主要国での自動車関連の市況悪化などにより、前年同期比3.6%の減収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化や積極的な販売拡大施策により、東南アジアでは売上が伸長したものの日本の減速を補えず、前年同期比3.1%の減収となりました。

3. 東南亜、米州は前年比増収も中国、韓国は低調に推移

- 2020年3月期第1四半期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	42,743	41,124	-3.8%	—
海外	42,684	37,917	-11.2%	-8.6%
中国	15,951	14,023	-12.1%	-7.6%
アジア	14,275	11,186	-21.6%	-20.0%
アメリカ	6,850	7,057	+3.0%	+2.0%
ヨーロッパ	4,352	4,182	-3.9%	+0.8%
その他	1,253	1,467	+17.1%	+16.6%

- 日本では、FAを中心とする設備投資需要が減速し、前年同期比3.8%の減収となりました。
- 海外では、東南アジア・アメリカで増収するも中国・韓国が低調に推移し、前年同期比11.2%の減収となりました。

4. 2020年3月期連結業績予想は従来どおり

- 2020年3月期の通期連結業績予想については、2019年5月9日公表の業績予想からの変更はありません。

2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	355,000	35,400	35,200	25,900	91.32
前期実績	331,936	31,874	31,815	24,034	84.80
増減	6.9%	11.1%	10.6%	7.8%	—

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2020年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2020年3月期第1四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

<p>この件に関するお問い合わせ 株式会社ミスミグループ本社 コーポレート・リレーション室 IR担当 Tel : 03-5805-7037 Fax : 03-5805-7014 mail : cc@misumi.co.jp</p>
